

I 第1週の発生動向 (2014/12/29~2015/1/4)

1. インフルエンザについては、八戸保健所管内で**警報**が、むつ保健所管内で**注意報**が新たに発令されました。また、上十三保健所管内で**警報**が、東地方+青森市、五所川原保健所管内で**注意報**が前週から継続しています。
2. 咽頭結膜熱については、弘前保健所管内で警報が解除されました。
3. 感染性胃腸炎については、患者報告数が前週の372人から137人に減少しました。
4. 伝染性紅斑については、八戸保健所管内で警報が解除されました。

II 第1週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		前週からの増減	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
小児科 内科 (90) インフルエンザ	178	13.7	58	3.9	453	30.2	129	18.4	552	61.3	97	16.2	1,467	22.6	506	19	19.0	159	13.3
(79) RSウイルス感染症	11	1.4	9	1.0	2	0.2	1	0.2	2	0.3	2	0.5	27	0.6	-43			11	1.4
(80) 咽頭結膜熱	4	0.5	8	0.9	1	0.1							13	0.3	-6			4	0.5
(81) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	0.6	4	0.4							1	0.3	10	0.2	-22			5	0.6
(82) 感染性胃腸炎	28	3.5	18	2.0	52	5.2	13	2.6	19	3.2	7	1.8	137	3.3	-235			28	3.5
(83) 水痘	2	0.3	8	0.9	3	0.3	2	0.4	3	0.5	1	0.3	19	0.5	-15			2	0.3
(84) 手足口病			1	0.1									1	0.0	1				
(85) 伝染性紅斑	5	0.6			5	0.5			2	0.3			12	0.3	-18			5	0.6
(86) 突発性発しん	2	0.3	2	0.2	2	0.2			1	0.2			7	0.2	-6			2	0.3
(87) 百日咳															0				
(88) ヘルパンギーナ					1	0.1							1	0.0	0				
(89) 流行性耳下腺炎	1	0.1											1	0.0	-4			1	0.1
眼科 (91) 急性出血性結膜炎															-1				
(92) 流行性角結膜炎	2	1.0	1	0.3	2	1.0	2	2.0					7	0.6	5			2	1.0
(97) クラミジア肺炎															0				
(98) 細菌性髄膜炎															0				
(100) マイコプラズマ肺炎											1	1.0	1	0.2	-1				
(101) 無菌性髄膜炎															-1				
(82) 感染性胃腸炎 (ロタウイルス)					3	3.0							3	0.5	-1				

は警報、 は注意報。「空欄」:患者発生無し。

III 全数把握疾患 (掲載数は最新情報)

- ・結核(二類全数把握疾患):弘前1人(2015年計:1人)
- ・侵襲性肺炎球菌感染症(五類全数把握疾患):弘前1人(2015年計:1人)

IV 病原体検出情報 検出情報はありませんでした。

感染症の窓

感染性胃腸炎

感染性胃腸炎の多くはノロウイルスによるもので、日本では12月から3月をピークに秋から春にかけて流行します。

ノロウイルスは手指や食品などを介して、経口で感染し、ヒトの腸管で増殖し、嘔吐、下痢、腹痛などを起こします。

感染性胃腸炎は、感染症発生動向調査(週報)の中では、感染症法の5類感染症定点把握疾患で、全国約3,000カ所の小児科定点医療機関から患者数が報告されています。全国的には、2014年も1~6月は増減しながら多い状況が続き、7月から減少し、11月頃から再び増加をはじめています。

青森県においても、全国に比べて定点当たりの患者数はやや少ないながらも全国と同様に推移しており、第52週の定点あたり患者報告数は8.9人/点に達しており、今後の動向に注意が必要です(図1)。

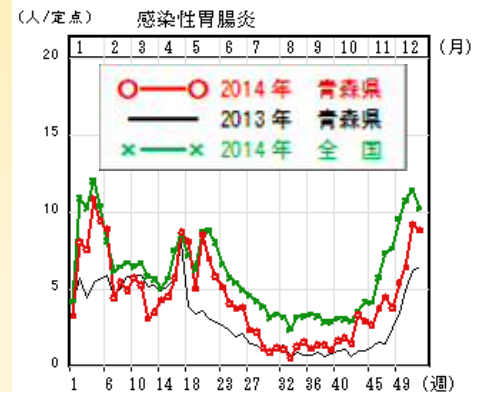


図1 保健所管内別定点あたり患者報告数の週別推移(第52週現在)

予防

- ① 手洗いの励行
- ② 患者が発生した場合は、調理器具等は洗剤などを使用し十分に洗浄した後、次亜塩素酸ナトリウム(塩素濃度200ppm)で浸すように拭く
- ③ まな板、包丁、へら、食器、ふきん、タオル等は熱湯(85℃以上)で1分以上の加熱

V 県内インフルエンザ情報

第1週の患者報告数は、1467人で、迅速診断キットによる型別はA型1439人、B型2人、不明26人でした。

警報レベル開始基準値：30人/定点、警報終息基準値：10人/定点、注意報基準値：10人/定点

(※ 警報注意報基準値は保健所ごとの定点あたり報告数が基準となっています。)

保健所管内別届出人数 (人)

週	44	45	46	47	48	49	50	51	52	1
保健所名										
東地方								3	3	19
弘前							7	28	60	58
八戸					1	22	65	175	326	453
五所川原						1	23	50	71	129
上十三					1	32	76	204	318	552
むつ				2	2		1	15	32	97
青森市	4		1		1	3	11	41	151	159
合計	4	0	1	2	5	58	183	516	961	1467

A型 (迅速診断キットによる型別です)(人)

週	44	45	46	47	48	49	50	51	52	1
保健所名										
東地方								3	3	19
弘前							7	28	59	57
八戸					1	21	54	170	321	450
五所川原						1	22	50	70	129
上十三					1	32	74	200	305	544
むつ				2	2		1	15	32	97
青森市					1	3	10	40	145	143
合計	0	0	0	2	5	57	168	506	935	1439

B型 (迅速診断キットによる型別です)(人)

週	44	45	46	47	48	49	50	51	52	1
保健所名										
東地方										
弘前									1	
八戸						1	1			
五所川原							1		1	
上十三										
むつ										
青森市	4		1						1	2
合計	4	0	1	0	0	1	2	0	3	2

年齢区分別(人)

週	44	45	46	47	48	49	50	51	52	1
～5ヶ月								1	3	8
～11ヶ月						1	1	6	9	16
1歳						4	3	9	23	31
2歳							5	15	30	25
3歳							1	9	11	34
4歳							3	8	20	34
5歳							4	12	23	37
6歳					1	9	12	25	53	37
7歳						5	11	21	32	34
8歳						6	15	20	39	23
9歳						7	13	25	47	28
10～14歳	2				1	9	46	159	227	154
15～19歳							19	36	51	73
20～29歳			1		1	1	2	31	82	229
30～39歳				1	1	1	5	34	79	179
40～49歳	2				1	3	7	33	63	156
50～59歳				1		1	7	13	51	106
60～69歳						2	4	11	31	114
70～79歳						1	3	9	27	78
80歳以上							1	14	20	71

VI 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2014年第37週～2015年第1週）

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
37	H26.9.8 ~ H26.9.14					腸管出血性大腸菌感染症1人	
38	H26.9.15 ~ H26.9.21						
39	H26.9.22 ~ H26.9.28					腸管出血性大腸菌感染症1人	
40	H26.9.29 ~ H26.10.5		レプトスピラ症1人			腸管出血性大腸菌感染症2人	
41	H26.10.6 ~ H26.10.12			カルバペネム耐性腸内細菌感染症1人			
42	H26.10.13 ~ H26.10.19			つつが虫病1人 カルバペネム耐性腸内細菌感染症1人 ジアルジア症1人		腸管出血性大腸菌感染症1人	
43	H26.10.20 ~ H26.10.26		急性脳炎1人				
44	H26.10.27 ~ H26.11.2					クリプトスポリジウム症10人	
45	H26.11.3 ~ H26.11.9		急性脳炎1人				腸管出血性大腸菌感染症1人
46	H26.11.10 ~ H26.11.16	つつが虫病1人					
47	H26.11.17 ~ H26.11.23			A型肝炎1人			
48	H26.11.24 ~ H26.11.30	侵袭性肺炎球菌感染症1人				腸管出血性大腸菌感染症1人	
49	H26.12.1 ~ H26.12.7	つつが虫病1人	急性脳炎1人			腸管出血性大腸菌感染症3人	
50	H26.12.8 ~ H26.12.14		劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人				
51	H26.12.15 ~ H26.12.21	腸管出血性大腸菌感染症3人	後天性免疫不全症候群1人	アメーバ赤痢1人			
52	H26.12.22 ~ H26.12.28	腸管出血性大腸菌感染症1人	カルバペネム耐性腸内細菌感染症1人				
1	H26.12.29 ~ H27.1.4		侵袭性肺炎球菌感染症1人				

VII 結核(二類全数把握疾患) (2014年第43週～2015年第1週)

単位：人

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
43	H26.10.20 ~ H26.10.26	2	2		2	3	
44	H26.10.27 ~ H26.11.2	1	1	1	1	1	
45	H26.11.3 ~ H26.11.9	3	2	2			1
46	H26.11.10 ~ H26.11.16	1	2	1			
47	H26.11.17 ~ H26.11.23	1	2	3	1		
48	H26.11.24 ~ H26.11.30		4	2	1		
49	H26.12.1 ~ H26.12.7		1			1	
50	H26.12.8 ~ H26.12.14	2	1		4	1	
51	H26.12.15 ~ H26.12.21			1	1		
52	H26.12.22 ~ H26.12.28		3	1		2	1
1	H26.12.29 ~ H27.1.4		1				

VIII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国

(2014年第1週～第51週累計)

分類	二類	三類	三類	二類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	回帰熱	Q熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	チクンギニア熱	つつが虫病	Dengue熱	日本紅斑熱	日本脳炎	ブルセラ症	ポツリス症	マリア	野兔病	ライム病	
累積報告数	25283	5	154	4110	53	16	143	429	18	8	1	1	1	60	14	302	336	237	2	10	1	60	1	17	
分類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	レジオネラ症	レプトスピラ症	7mer-パ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クワイツフェルトヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵袭性/フルエンザ菌感染症	侵袭性髄膜炎	侵袭性肺炎球菌感染症	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	バンコマイン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	水痘(入院例)	多種性クリプトコッカス症	薬剤耐性アシネトバクター感染症		
累積報告数	1201	47	1087	217	449	98	172	266	1487	67	190	37	1714	9	1603	122	52	319	482	281	129	30	14		

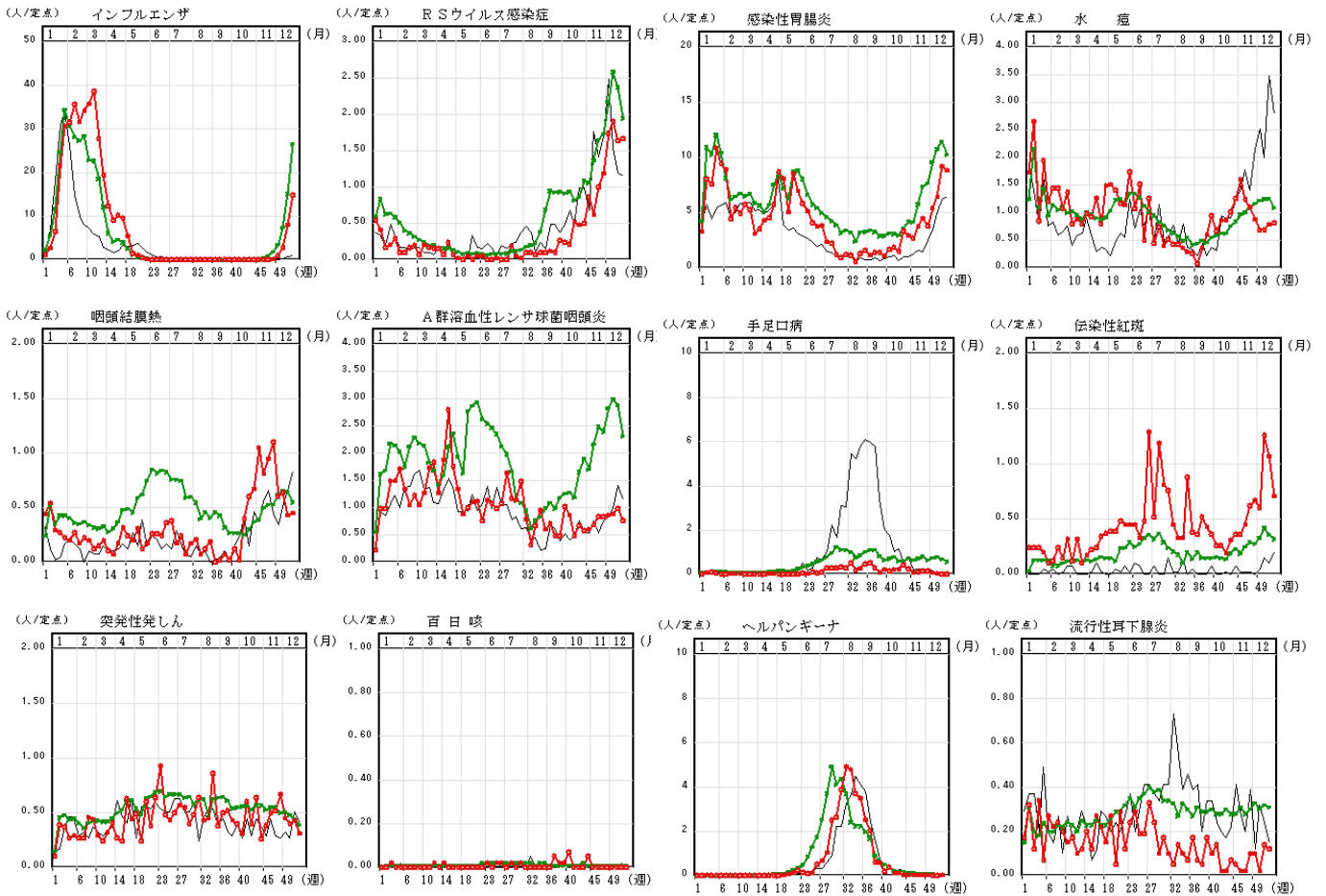
青森県

(2015年第1週累計)

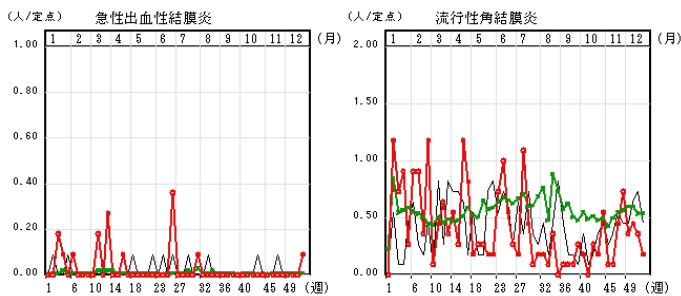
分類	二類	五類
疾病名	結核	侵袭性肺炎球菌感染症
累積報告数	1	1

IX インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2014年第52週)

グラフの説明 ○—○は2014年青森県、——は2013年青森県、×—×は2014年全国



X 眼科定点把握疾患週別推移 (2014年第52週)



XI 基幹定点把握疾患週別推移 (2014年第52週)

